

DVD「がん治療における医療機関と保険薬局との連携」アンケート調査結果

厚生労働行政推進調査事業費補助金による「かかりつけ薬剤師・薬局の多機関・多職種との連携に関する調査研究」研究班で作製したDVD「がん治療における医療機関と保険薬局との連携」を昨年4月に各都道府県の薬剤師会、病院薬剤師会、並びに全国の薬科大学・薬学部74校に寄贈した。DVDの利活用状況について調査すべく、本年1月末に各施設にアンケート調査票を郵送し、2月25日（木）までに回答を求めた。

【結果】

回答数：薬剤師会	28	(回収率 58%)
病院薬剤師会	25	(回収率 52%)
薬科大学・薬学部	19	(回収率 26%)

<薬剤師会・病院薬剤師会>

問2 DVD「がん治療における医療機関と保険薬局との連携」を貴会の中で視聴しましたか。

	薬局	病院	Total
視聴した	18	16	34 (64%)
視聴していない	9	8	17 (32%)
(届いていない)	1	1	2 (4%)

コメント：事務局移動のため行方不明中。

個人としては視聴済
一部役員のみ

問2-1 視聴した感想を教えてください。

	薬局	病院	Total
1、非常に参考になった	4	6	10 (29%)
2、やや参考になった	2	3	5 (15%)
3、参考になった	11	5	16 (47%)
4、あまり参考にならなかった	1	2	3 (9%)
5、まったく参考にならなかった	0	0	0 (0%)

問3 貴会では、本DVDをどの様に活用しましたか、又は活用する予定ですか。(複数回答可)

	薬局	病院	Total
1、会員へ貸し出しを行い視聴した。	4	8	12
2、勉強会やセミナーなどで上映した。	4	2	6
3、HPなどに掲載し、視聴出来る様にした。	3	0	3
4、その他	12	11	23
5、活用する予定はない。	5	3	8

問3 その他のコメント：

- 担当委員会内での視聴、活用の検討。
- 今後、執行理事会で検討します。
- 基本的な内容すぎる。病院毎に対応が異なるため、参考程度にしかならないと思う。病院側の対応を確認しないと活用できない。
- 機会があればセミナー等で上映する。
- 担当委員会にて視聴したため、活用方法は今後検討したい。
- 貸出できるようライブラリに保存した。
- 会員に広く PR して行きたい。委員会で検討していく。
- 担当する委員会で視聴した。
- 図書コーナーにて紹介
- 当会の薬事情報センターで保管。必要に応じて会員へ情報提供をしている。
- 今後、活用を検討
- 紹介して貸出としていた。
- 活用を検討します。
- 未定
- HP の掲載や貸出などは今後検討していきたいと考えています。
- 現在、検討中です。
- コロナ禍で集合研修不可のため実施できていない
- 2020 年 4 月に郵送いただいてから、COVID-19 のため参集しての理事会研修会を中止しており、複数施設で視聴する機会を失いました。
- 希望があれば貸出するが、希望者がいません。
- 理事会にてアナウンスし希望する会員施設に配布することにした。
- 理事会で紹介し会員へ広報
- 県病薬がん薬物療法WG 担当者が視聴して参考になると判断しグループ内で視聴する予定だったが、コロナ禍で実施できていない。県病薬のHP で視聴できるように検討中である。
- 視聴希望施設への貸出を案内している。
- 検討中
- 病院薬剤師と薬局薬剤師とで連携について考える研修会を開催し、題材として使用する予定。

問4 本 DVD を各地域で活用することは、薬-薬連携の推進に役立つと思いますか。

	薬局	病院	Total
1、とても思う	6	5	11 (23%)
2、少し思う	5	4	9 (19%)
3、思う	11	11	22 (47%)
4、あまり思わない	2	3	5 (11%)
5、まったく思わない	0	0	0 (0%)

問5 本 DVD は、3 年前に制作・配布した 2 枚組 DVD「病院薬剤師、保険薬局薬剤師の相互理解」の続編となります。一連の DVD に関する感想や今後の利用方法など、ご意見をお聞かせください。

- 参考になりました。今後は、情報共有の具体的な様式や例などの提示があれば更にわかりやすくなると思いました。
- 本県では、局地的に薬薬連携が始まっているケースが多い。このような資材を Web 閲覧可能にするなど、自由に利用できるようにできればと考えている。
- 患者のフォローアップや TR の利用手順など、未経験の薬剤師には明確にイメージできる資材だと思います。
- 3 年前の DVD について覚えがありません。トレーシングレポートが見ることができて、実施例があればいいと思います。
- DVD を見ることで、フォローアップのイメージがしやすくなると思う。前回と比べると、がん領域での連携が支持療法に焦点を当てていて、具体的なフォロー体制構築が見える内容となっていて良かった。薬機法改正における薬剤師の継続的な指導の一端が見える内容となっていていいのではないかと思う。
- 薬薬連携推進研修会で活用できればよいと思うが、今年度は病院ごとに連携充実加算の説明会が開催されたため、全体としての研修会は開くことができなかつたので、今後病院、病薬と協議しながら利用できるようであれば活用したい。
- 役員会でも紹介し、他の関係する委員会でも視聴を勧め、また各地域での活用も勧めていきたい。
- 今回の事例は基本的な事例だと思うので、もう少し詳しい事例や具体的な方法などを示した方がよいと思う。
- 研修会の合間、Web 研修会の開始前などにも利用していきたいと思います。
- 本 DVD は視聴していないが、薬薬連携は重要だと考えます。
- 当薬剤師会では、R1,R2 年度で病院薬剤師、保険薬局薬剤師の連携のあり方の事業を行い、相互理解が深まりつつあります。本 DVD では薬局薬剤師と患者さんとの応対場面が主でした。むしろ、薬剤師同士が会話している場面、会話の内容が観たかったです。患者さんに電話連絡する場合の心得の箇条書き部分は大変参考になりました。
- 病院薬剤師と保険薬局薬剤師の連携の重要性が理解できた。フォローアップのポイントが分かりやすく示されていた。
- 病院薬剤師、保険薬局薬剤師と一緒に視聴するのがいいのではと感じた。
- 現在薬局薬剤師に望まれる服薬期間中の患者をフォローする為の研修ツールとして有用である。多くの現場の薬剤師が自己研鑽できるよう、日薬 JPALS や YouTube 等で配信してもらいたい。
- 今後、活用を検討。
- 薬剤師会を通して保険薬局に広くアナウンスしては如何でしょうか。
- 地域によって環境が違いますので、参考にはなると思いますが、即、実践というのは難しいかもしれません。

- オンラインで視聴できるとよいと思います。
- 連携充実加算の算定が可能となり、この DVD は病院薬剤師、調剤薬局薬剤師どちらの立場に対しても、教育ツールとして使用可能であると感じた。
- 短編で視聴しやすい。内容もわかりやすいので課題ごとの DVD があれば参考になる。今後定期的に作成される予定があれば知りたい。
- 比較的理解がしやすい内容のため、薬剤師間の連携だけでなく、学生実習や新人薬剤師の教育にも活用できると感じました。
- コロナ禍において、講演会等の集合型研修の開催は非常に難しい状況です。各県病薬レベルで動画を HP 掲載することは作業量及び機器のスペックを考えると難しい状況です。是非とも本事業の関連学会の HP にて動画形式で掲載（必要ならパスワード可）をお願いしたい。URL の紹介を県病薬に周知することは比較的容易に実現可能です。
- 薬薬連携に対する患者・他職種の考えなり評価を知りたいと思っています。
- 薬薬連携の概要、進め方については多くの医療機関・薬局で理解されている。あとは、各々の意識の問題であると思われる。
- 現在は活用できていないが、活用していきたいと考えています。
- 癌化学療法施行患者に対する薬薬連携において、情報共有とコミュニケーションの方法が ZELOX 症例を通して具体的に教示されており、わかりやすい内容だった。情報提供を行う際に患者の同意取得が必要なこと、保険薬局薬剤師の薬学的関与やトレーシングレポートによる情報提供について、当然のことではあるが、薬薬連携を行う上で重要なポイントが示されており、病薬の中で共有していきたい。
- DVD の貸出を行いました。郵送、返送など手間がかかるため、ストリーミング配信を検討して頂ければと思います。
- 県病薬 HP への掲載などに制限が無いのであれば、県病薬 HP などでの情報共有も検討したい。
- 院外薬局からの疑義照会の病院側の受け手が薬剤師になっているが、第三者を介すより、直接医師の方が良いという考え方もあるのではないかと。
- テレフォンフォローアップも薬局によっては難しいところもあるのではないかと。
- 本 DVD にて、がん治療における医療機関と保険薬局の連携について、具体的に映像で理解を深めることができました。
- 専門医療機関連携薬局を目指す薬局・薬剤師のみならず、広く会員に周知して、医療機関と保険薬局との連携の理解を深めてもらえるように力を尽くしてまいります。
- DVD の内容では、紙ベースでのやり取りでしたが、今後 ICT を活用することが多くなると思われるので、そのような事例も取りあげて欲しい。
- 病院薬剤師と薬局薬剤師で、具体的にどのようにして連携するか討論する為の研修会（グループワーク）などに利用したい。DVD の内容のような理想的な連携の為に必要なことを理解し役立つ研修を実施するにはどうするか計画を立てたい。

<薬科大学・薬学部>

問 2 本 DVD を学生が視聴する機会がありましたか。

視聴した 5

視聴していない 14

問 2 視聴していない理由

- コロナ禍のため、対応できなかった。
- コロナ流行で学生授業が web となったため。
- コロナの影響で時間が不足したため
- 機会がなかなか作れず申し訳ありません。
- 機会がなかった
- コロナ禍のため、対応できませんでした。
- 対面授業が禁止されていたため

問 2-1 視聴した学年と視聴の状況をお答えください。(複数回答可)

回答数

1 年生 (個別) 1 目的: 早期体験学習

2 年生 0

3 年生 0

4 年生 (集合) 4 目的: 事前学習、地域医療論、実務実習事前学習、癌化学療法の
支持療法とコミュニケーションスキル

5 年生 0

6 年生 0

その他 0

問 3 DVD を学生が視聴するにはどの時期が有用と考えますか? (複数回答可)

回答数

1 早期体験実習 (1 年生) の時期 4

2 4 年生 OSCE 前の事前学習の時期 9

3 OSCE 及び CBT に合格した後の実務実習開始前の時期 3

4 実務実習終了後 2

5 図書館等におき、時期や学年を問わず視聴できるようにする 7

6 その他 (具体的に:) 1

7 利用する予定はない 2

問 4 本 DVD は、3 年前に制作・配布した 2 枚組 DVD 「病院薬剤師、保険薬局薬剤師の相互理解」の続編となります。一連の DVD に関する感想や今後の利用方法など、ご意見をお聞かせください。

- 3年前のDVDはがん患者における病院薬剤師、薬局薬剤師の業務について理解できると思います。また、続編の本DVDでは、具体的に病院薬剤師、薬局薬剤師ががん患者さんにどのように関わっているかが、DVDを視ることで学生がイメージしやすいと思います。このDVDは事前学習、もしくはOSCE及びCBTに合格した後の実務実習開始前の時期に学生が視聴することにより、薬局薬剤師、病院薬剤師の業務がイメージしやすく、実務実習において、学生がより積極的に実習に関われる教材だと思います。
- 3年前のDVDを含め、このような現場の状況を理解するにはとても有用な学習資材はありがたいと思います。
- 今回は今までの作品も含めて活用し連続性があってよかったと思います。今後は、薬剤師の在宅訪問などの業務の紹介、薬剤師と製薬企業との関係といったことをテーマにさせていただけるとよいと思いました。今回はコロナ禍の状況でありましたので、学生がオンラインで視聴できるように学内学生限定サイトに期間限定公開で動画を掲載させていただきました。結果として、視聴回数が約600回（学生人数360名）と多かったことが印象的でした。
- 臨床系教員と検討させていただきます。
- いつもお世話になります。今後ともよろしくお願い申し上げます。
- 特にありません。
- 今回の内容は、広義には薬薬連携に関するものですが、がん治療に特化した話題のため、がん治療と関連した授業で視聴させるのは相応しいですが、それ以外の授業では使い難いように感じます。まだ当面メディア配信授業が続きますので、DVDというメディアでは、図書館に配架し、感染予防に注意しながら自由に閲覧して頂くしかないように思います。本学はStream映像をLMSを経由して配信しますので、学生に視聴させるためにはmp4ファイルなどでの配布をご検討頂けたら幸いです。
- DVDの収録内容に対応した具体的な資料（患者情報や処方など）を添付していただければより使いやすくなります。ご検討ください。
- レジメンと副作用、支持療法をグループ討論して考察する。患者対応のシナリオを考えてからDVDの後半を視聴した。患者背景のシナリオを追加してnarrative based medicineの教育にも応用したい。

アンケート回答用紙

◎ 以下の間で該当するものを選択または記載してください。

問1 貴会について教えてください。

_____ 薬剤師会

問2 DVD「がん治療における医療機関と保険薬局との連携」を貴会の中で視聴しましたか。

- 1、視聴した → 問 2-1 へお進み下さい。
- 2、視聴していない → 問 3 へお進み下さい。

問 2-1 視聴した感想を教えてください。

- 1、非常に参考になった
- 2、やや参考になった
- 3、参考になった
- 4、あまり参考にならなかった
- 5、まったく参考にならなかった

問3 貴会では、本 DVD をどの様に活用しましたか、又は活用する予定ですか。(複数回答可)

- 1、会員へ貸し出しを行い視聴した。
- 2、勉強会やセミナーなどで上映した。
- 3、HP などに掲載し、視聴出来る様にした。
- 4、その他

()
5、活用する予定はない。

問 4 本 DVD を各地域で活用することは、薬-薬連携の推進に役立つと思いますか。

- 1、とても思う
- 2、少し思う
- 3、思う
- 4、あまり思わない
- 5、まったく思わない

問 5 本 DVD は、3 年前に制作・配布した 2 枚組 DVD「病院薬剤師、保険薬局薬剤師の相互理解」の続編となります。一連の DVD に関する感想や今後の利用方法など、ご意見をお聞かせください。

()

以上、ご協力ありがとうございました。

以下の問で該当するものを選択または記載してください。

アンケート回答用紙

問1 貴大学名について教えてください

問2 本DVDを学生が視聴する機会がありましたか。

1 視聴した →問2-1から回答してください

2 視聴していない(理由)
→問3から回答してください

問2-1 視聴した学年と視聴の状況をお答えください。(複数回答可)

- 1 1年生(集合・個別) 目的:
- 2 2年生(集合・個別) 目的:
- 3 3年生(集合・個別) 目的:
- 4 4年生(集合・個別) 目的:
- 5 5年生(集合・個別) 目的:
- 6 6年生(集合・個別) 目的:
- 7 その他() 目的:

問2-2 DVDを視聴した学生は内容に関心を示しましたか?

- 1 とても関心を示した
- 2 ある程度関心を示した
- 3 あまり関心を示さなかった
- 4 関心がなかった
- 5 どちらともいえない
- 6 学生に聞いていないのでわからない

問3 DVDを学生が視聴するにはどの時期が有用と考えますか?(複数回答可)

*お手数ですが、視聴されていない方は視聴の上、ご回答ください

- 1 早期体験実習(1年生)の時期
- 2 4年生OSCE前の事前学習の時期
- 3 OSCE及びCBTに合格した後の実務実習開始前の時期
- 4 実務実習終了後
- 5 図書館等におき、時期や学年を問わず視聴できるようにする
- 6 その他(具体的に:)
- 7 利用する予定はない (裏面有り)

問 4 本 DVD は、3 年前に制作・配布した 2 枚組 DVD「病院薬剤師、保険薬局薬剤師の相互理解」の続編となります。一連の DVD に関する感想や今後の利用方法など、ご意見をお聞かせください。

問 5 ご回答内容に関して、問合せさせていただく場合のご連絡先をお教えてください。

ご連絡先電話番号	ご担当者氏名
_____ ご連絡先 e-mail	_____

以上です。ご協力ありがとうございました。

<アンケート回答は 2 月 25 日（木）までに郵送または FAX をお願いします。>